

【家庭教育支援チーム】

チーム名 (呼称)	勝央町家庭教育支援チーム「あすなろ」
活動開始年度	平成28年度
活動拠点	勝央町公民館
活動範囲	勝央中学校区、勝央町内全域
活動財源	<input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(地域における家庭教育支援総合推進事業) <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(先駆的家庭教育支援推進事業) <input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名) <input type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 ()
組織体制	<u>9 人</u> 家庭教育専門員 1人、家庭教育支援チーム員 8人
具体的な活動内容	<input type="checkbox"/> 講座型 <input type="checkbox"/> 拠点型 <input checked="" type="checkbox"/> 訪問型 <input type="checkbox"/> 総合型 <input type="checkbox"/> その他() 【活動内容】 ・子育て情報誌の作成・配布 町の広報紙では取り上げられないが、子どもたちに関わる身近なニュースや問題を取り上げて掲載する。学校や家庭に関する情報等を知らせる。 町内の小学生・中学生の居る全家庭を訪問し配布する。保育園児の居る家庭には、園児を通じて配布。町内の公共施設や病院の待合に閲覧用ファイルを設置している。 ・情報共有 訪問時に得た情報の内、必要に応じて、学校や子ども・若者サポートネットと共有し、子どもに見守りや支援につなげている。 ・連絡会 月1～2回程度、チーム員同士の連絡会を開催し、情報共有をしている。一人で抱え込まない、また、訪問の目的を確認する場となっている。



活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問を始めたことで、子どもや家庭に関する情報が集まっており、保護者の不安解消や、学校と家庭との橋渡しの役割を果たしている。 ・チーム員がそれぞれの役職上抱える問題を共有することで、個人の負担感が減少している。
活動において苦労した点や課題	<ul style="list-style-type: none"> ・立ち上げ当初は、家庭のマッピングと、実際に訪問した際の照らし合わせに苦労した。 ・就学前の子どもがいる家庭とも繋がれる仕組みを作ることが課題。
今後の活動目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「不登校・引きこもり予防」の点で、訪問して顔と顔の見える関係をつくり、孤立家庭を無くすことがチームを結成した目的である。今は種まき期間だが、活動を継続することで、10年後、20年後に成果として現れることを目標としている。 ・今後は健康福祉部とも専門性を脅かさない程度に連携し、就学前の子どもがいる家庭とも繋がれる仕組みを目指したい。
問合せ先	<p>(部署・氏名等)勝央町教育委員会 教育振興部 (主査 三戸祥恵、主事 藤井雄一、公民館職員 富坂興子) (TEL)0868-38-1753 (E-mail) syakaikyouiku@town.shoo.okayama.jp</p> 